





和名集并 異名製劑記卷之下

也

益母草 和名スジキガサ 異名シラ

蔚子ノ下ニ註ス五月五日ニ採テ

陰乾ニメ銅鐵ヲイム木ノ藥研ニ

テシロス又ハ日ニ乾少シ焙リテモ

用ニ或ハ黒焼ニメ産後ノ血暈ニ

童便ニテ與フ

益智子 唐ヨリ來ル也。上皮ヲ去

碎テ少シ炒布ニ包ニテモニ垢ヲ

取テ研テ使フ

楊梅 和名ヤシモノ事也五月取

射干 一名鳥扇一名鳥蒲。一

名鳥翼。一名鳥吹。一名草姜



和名カラスアフリキト云々草ノ根也
イキハツニ似テ黄色ナル花サカ
谷田野ニ生ス。二月三日ニ根ヲ採
テ土氣ヲ洗ヒ蘆頭ヲ去リ日ニ乾
米泔ニ浸シ剉ミ又日ニ干スル

末

麻黄 一名卑相一名龍沙一名ハ
卑鹽 和名カヅ子クサ。冬ニ立秋
ニ採テ陰乾ニス。製法ハ白水浸
シ洗ヒ上テ銅刀ニ節ヲ去リ剉ミ
水ニテ煮テ竹ヘラヲ以テ上ノ沫ヲ
去リ盡ク漉出シ日ニ乾ヒ焙リ用
ユ。沫モ盡サルヲ服ス。八人ヲレテ
悶セシム

蔓荊子 和名ハハヒハツハキトモ

云々濱ニ生ス。近江ノ國ナトニモア
リ葉ハツキノ葉ニ似テアツク和
ラカニ。ウラハ霜ノ降ル様ニウス
白ニ紫色ノ花サカスルニ似テツルデ
モナシ。九月ニ實シ取テ酒ニ蒸
テ乾シ使フ

麻仁 アサノ實也。上皮ヲ去リ炒テ
研テ用ユ

萬木髓 一子ノ事也。元湯ニ浸シ
上皮ヲコソケ去テ銅刀ニテウスク
剉ミ木藥研ミ。スリノ内ニシロス
サケレハ研ケカスル者也。又サケニ
テシロシモスルソ

卷栢ニホシ 日本ニホシニ岩イソニハト云ル一名八

萬歲マンサイ一名八豹足ヒヨウソク一名八未股キヤクダ一

名カ交時カウジ五月七月ニ採テ陰乾カクホシ

ニシテ坐キサ三炒イリテ使ツカフ

假蘇カサ 一名カサ荊芥穗葉ウヰカイホノ之ハ使ツカ

三月三日ニ種タネヲニイテ七月八月ニ采

ノリテ實ミ熟ジュクス時取トリテ陰乾カクホシス

荊瀝ウヰカイ 荊芥ウヰカイノ十ニ九ニ葉ハヲモミ其

汁シユヲ煎シユ藥ヤクノ中チカハニ入ルニ十ニ葉ナキ

時トキハ荊芥ウヰカイノホシ藥種ヤクシユノ中チカハニ入ル

雞蘓ウヰカイ 薄荷ハハツカノ香カノヨキヲ云フ香

ノ十ニキハハツカト云フ

雞腸草ウヰカイ ハニ入ルノ事也

雞冠子ウヰカイ ケイトウケイトウノ實也炒テ

用ユ又雞冠花ウヰカイハケイトウケイトウノ花

也キサニ灸ル

玄參ウヰカイ 一名ウヰカイ重臺チウタイ一名ウヰカイ鹿腸ロクチウ一名

正馬セイバ一名ウヰカイ八威ハツイ一名ウヰカイ八端ハツタン三四月ニ根

ヲ取トリテ暴ハラ干ホス日本木曾キソノノ山サン中チウ

アリト云フ採得サイトクテニ蒸シユテ去サ蒸シユ

テ日ヒニ曬サシ干ホス唐ヨリ來キタル八角堅ケンク

黒クキ者モノ佳也キサ剉シ焙ヒテ用ユ

玄胡索ウヰカイ 本名ウヰカイ八延胡索也其ニ

キサニ使ツカフ

决明子ケツメイシ 日本ニホシニニハカノ草クサト云フ

ノ實也十月十日ニ取トリテ陰乾カクホシス

其ツニ碎テ用ユ

雞名香 日本ニナシシ坐シラロ火

シロニ説ニ日本ノ桃ノヤニナリト云ラ未審カナラス

アル歟

桂枝 内桂ノ枝ノカワ也 上皮下

削リキサニ用テ灰ヲイム

牙皂角 又猪牙皂角トモニ猪ノ

牙ニ似タル故ニ云又皂莢トモ

云ス日本ニテハサイカシト云フ

木ノ實也九十月ニトル中ツル

トサチトシ去テ銅刀ニテ細ニ割

日ニ乾シ炙リ用ユ

雞頭實 日本ニテハウミラキノ實

也上カワヲ去テ炒ル



附子 八月上旬ニトル用テニ熱灰ニ

テ炮シ過ス事ナカレ雷公カ云

ヨク使フニ八角ナル者ヲ用テアリ

陳カ云ク八角ナル冬月ニ採シ附

子トシ春トルヲ烏頭トス文武

ノ火ノ中ニテ炮シ皮臍ヲ去テキ

サニ用ユ

浮萍 水萍ノ事ナリ水萍ノ下

ニ具ニ記ス

浮麥 ヲムキノカス也炒ル

蕪夷仁 一名八蕪其三月ニ實

採テ陰乾ニス少シ炒テ用ユ唐

李ノ注ニ云ク爾雅ニ云ク一名ハ

葳蕤今葳蕤ト名スル字ノ
誤リ也

覆盆子 日華イナノ草ナリ蓬
蘗ト同レ物異名ト云但蓬蘗
ハ根ナリ覆盆實ナリ孟詵力
云ク覆盆子味酸五月ニ麥
田ノ中ニ於テ得ル

茯苓 大山ナトハ大形ノ根ニ生ス
二月ニ取テ陰乾ニス黒キ皮ヲク
ツリ去テキサニ細シ水入テ淨ク
物ヲ捨テ日ニ干少シ炒リ用ユ
茯神 是モ松ノ根ニアリ但シ茯神
ハ根貫キテアリ製法ハ茯苓ト
同シ

五味子 一名合會及一名玄及日

本ニハサ子カツラノ實也八月ニ
實ヲ採テ陰乾ニス鹿皮ヲ去酒
ニ浸シ蒸テ又日ニホシイッテ研ス
鐵ヲイム

胡黃連 一名八割根日本ニテハタ
シヤクヲ用ニ採ニ時ナレトアリ然
トモ七月ニ花サク八月ニ取也其マ
テ使フ唐ヨリ來ル物ノ根ナリ

地黃ノ如クシ味ニ苦シ
野杖根 一名苦杖日本ニテハイ
冬ドリノ根也圖經曰ク死杖ノ一
名ハ枯杖ト云ク今處々ニ是

冬ドリノ根也圖經曰ク死杖ノ一
名ハ枯杖ト云ク今處々ニ是

了二月三日... 生... 結... 根... 取... 白... 二... 干...

葫蘆巴 圖經... 夏實... 結... 秋... 至... 取... 未... 用... 下也

胡桃實 クルミノ事
吳茱萸 一名公蒙 日本ニモアリ
九月九日ニ採テ陰乾ニス凡使
ニ其マ湯ニ入テ能洗ヒテ汁ヲス
ル事七度ノ核ヲ去日ニホシ炒

雷... 傳... 葉... 核... 并... 雜... 物...
去... 鹽... 水... 三... 洗... 事... 百... 度... 日...
示... 菜... 萸... 十... 兩... 鹽... 二... 兩... 用...
テ研末... 東... 流... 水... 三... 洗... 用... 大...

穀精草 二三月ニ穀ヲ田ノ中ニ於
テ取ル... 名... 載... 星... 草... 花... 白... フ...
必... 圓... 星... 似... タリ... 故... 此... 草...
ル... 三... 葉... 子... カ... ク... 饒... タル... 馬... ニ
飼... 肥... 圖... 經... 二... 日... 今... 鹿... 二... 是... ア
リ... 春... 穀... 田... 中... 二... 生... ス... 葉... 葉... 葉...
青... 根... 華... 并... 白... 二... 三... 月... 内... 二...
根... 二... 種... 下... 莖... 梗...
長... 節... アリ... 根... 微... 赤... シ... 古... 方...

瑞二解二今齒ノ藥ニ多ク是ヲ使
フ所ノ藏器ガ云ク味ニ辛ク平馬
ノ藥ニ入腫花白ノ葉細ナリ

牛膠 一名百倍。日本ノノコト
云ノ草ノ根也。八月ニ根ヲ取テ

陰乾ニス土氣ヲ洗ヒ蘆頭ヲ去リ
日ニ干酒ニ浸シ又日ニホシ焙リ厚

厚朴 一名厚皮。一名赤朴。一名
淡白。日本ホドクノ皮也。三九月

ニ皮ヲトツテ陰乾ニスイカニ厚ク
厚白。水ニ一夜ヒタシ上カヲ削

去テ。スク。剉シ熱湯ニ浸テ干
シ。ニ洗ヒ生薑ノ汁ニヒタシ日ニ干

能ク炒テ口ニ用ニ雷公カニ紫

色ニ味ニ辛キヲ好トス丸散ニ

ハ鹿皮ヲ去テ醋ヲ用テ製シテ

不避ニ使フ湯藥ニ生薑ノ自

然汁ニヒタシ炙リ用ユ

枯礬 明礬ノ燒タルシ云フ

胡桐淚 胡桐木ト云木ノヤニナリ。

其葉初ニ生ス事柳ノ葉ニ似

タリ漸ク大ニシハ則チ葉ナトニ

供タリ其津液地中ニ入テ大石ニ

相著ク冬月ニ採ル狀チ黃礬ニ
石ノ如シ味ニ極メテ鹹ク苦シ此
藥リヲ水ニ入テ見レ良瀝テナレ
胡椒 海藥ニ云ク陰ニ向フ者ヲ華
澄茄ト云陽ニ向フ者ヲ胡椒ト

云ノ用ルニツキ碎キ粉トナス

五倍子 一名支蛭 一名八百蟲 倉

日本又ヒテノ科ノ實也即チホフリン

事ナリ九月ニ採テ陰乾ニス内蟲

ク多クシ能ハライ捨テ細ニ用ユ

胡麻 酒ニタシ九度ムレテ其後炒

テ使フ烏麻ト云フ黒ゴマノ事

殺羊解 良譚云ク六ニルロシノ

角ナリツノモ太キナリ靴羊ノ角トハ

男ニシテノ角也ト此説未審ナラズ

一説ニヤギツノ角ナリト云フオスニテ

フロ使フ

蜈蚣 分テノ事ナリ雷公カクナ

足ノ虫ヲ用ルイナカト頭上ニ白粉

アリ面并ニ此甯小丸也若誤テ

用テ腥臭ノ氣頂ニ入テ死ヲ致

ス柳ノ木ニサクサニ土罌中ノ中ニ

テイル和焦レ黒色ニナリテ後木

ヲ去竹刀ニテ足ト申ヲ去テ用ユ

一説ニ酒ニ一夜浸ノ割ニ炙ルト

云フ方ニ元ハ

虎骨 并虎肉微火ノ上ニ焙乾

シ搗テ粉トナレテ衆藥ノ内

ニ入用ユトナリ

虎腦骨 虎ノ子ノ骨也ト云テ

醋ニタシ火ノ上ニ直ニヤキ使フ

牛黄 雷公論ニ四件アリ其第

三牛ノ角ノ間ナリ是ヲサキ

〆ツテ其膏濃ヲトツテ便ナク水
 中ニ投メ水ヲ又其ヲ使フトアリ都
 説ニ牛ニ人參ヲ飼テ天日ニ晒シ
 其ヨクシラウケテ百日陰乾ニシ
 解トナリ日本ニテハ採事ナシ
 唐ヨリ來ルヲ其ニ研テ使フ
 膏碎補 一名石菴蘭。一名公骨
 碎布 雷公カ云ク採得テ銅
 破升解テ上ノ黄赤ノ毛ヲ削リ
 盡ノ細ニ切テ酒ニ拌セウルホサニ
 メテ柳甑ニテ蒸ス事一日ノ後
 暴ニ乾ノ用。又蜜ニカキマゼ蒸
 事モアリ
 紅藍花 一名黃藍即千紅花也

日本ノ三ノ華ノ事ナリ炒テ用
 ヲ又生ニテモ用ルケモアリ實モイ
 ツテ使フ産後ノ中風煩渴ニ用
 ルガアリ

紅糟 ベニカスノ事也
 牛房子 一名貝子 一名大加子
 少シ炒テラロス
 黒參 玄參ノ事ナリ
 黒衣 ヲ炙リニダリタルノ事
 黒錫 名子ナリノ事ナリ

天門冬 天
 一名天門冬 日本ニ生ヤ
 ノ所也ト云フ藥屋ニ皆是シ
 賣ト見ヘク是ニテアルニキ也

天門冬ハ草ノ子モ葉モ別ナリ
本草ヲ見レハ知ル聞記ス及公
二三七八月ニ根ヲ採テ暴乾ス
云白水ニ浸シ土氣ヲ洗ヒ四ツニ
イテ心ヲ去リ蒸テ日ニ干テクリ

用

紙羊角 子イサキ躬ヒツジ也下角
モ子イサキ色モ紙羊角トハ別也

タリニテヲコシ使フ

葶藶 一名丁塵 一名葶藶高
一名大室 一名大適 日本ヲト
コナツナノ實イ也平澤及田
野ニ多ク生ス立夏ノ後實ヲ採
テ陰乾ス番分云ク凡使フニ赤

鬚子ヲ用ルナカレ真ニ葶藶
子ニ相似タリ製スルニ糯米ト相
合シ焙テ熟スルヲ待ニ米ヲ去
單ニ搗テ用テ説ニ紙ヲ罽ニキ
テ炒テ用ユト

天南星

日本ニモアル葉ニニヤクイ

モノハニ似タリ二月ニ取ル圖經ニ
云ク二月ニ苗ヲ生スルニ莖荷ノ
根ニ似タリ莖高キ事一尺カ
未ニ葉アリ兩枝相抱テ生ス五
月ニ花サク黄色ナリ七月ニ實ヲ
結テ穂ヲナス石櫛子ニ似テ紅
色アリ根辛ニ似テ圓シ二月三
根ヲトル能ク苗弱ノ根ト相

類ス人多ク恨テ是ヲトル毒弱

ハ藍ニダラシメ。花紫色也。コシヤク

イモノイ也。一説ニ天南星本草所

説ノ如シハ解キ見掌也。小ナ著

シ由跋ト爲ス後人採用テ即チ

一名ヲタツルニ南星毒アル故ニ

生薑ニテ製ス又炮ノ製ニ用ユ

天花粉 カラスウリノ根ノ事ナリ。

ツキ碎キ水ニイサセテ。ウグスリヲ

捨テ日ニ干スリ用ユ

天仙藤 日本ニハ生木香ツル也

飯ノ上ニ置合シテ坐シ炙リ用ユ

天麻 其ノ製ニ炙テ用ユ。痘疹ニ

モ其ニ使フ也。方ニ依テ紙ニツ

三酒ヲミメシ炮シテ用ユ

天雄 ウイノ皮尖ヲ去キサ細

ニテ用ユ

釣藤鈎 ツル也日本ニモ紀州ニ

アリト云フ



阿魏 雷公方論ニ先淨鉢ノ中

ニライテ研テ熱酒ニテ製シ藥

ノ中ニ入用ユト。又云コムキノ粉ニ

スリ合せ麩ニシ大升錢ホトニシ

蝕スリ麩モ共ニ升六、使フ鳥

モチノ如ニシルク息キ物也。又

ナツチノ實ノヤウニテ。ツククト。

カタリタルアリ香モナシ。是。最

モツ庄

佳ナリ製スル事ハ前ニ同シ又酢

ニテ煮ホシテ使フトモ云フ

阿煎藥 百藥煎 上ニ同ク又息

安息香 卒ト研テ砂石ヲ去テ

酒ニテ煮布三ノヨセハ砂布ニ

留ル安息ハ酒トツレテトヲル

也其後又煉テ使フ

阿膠 日本ニ云ニカワノ事也本

草ニ云ク乾牛皮ヲ用テ作ラ

アリ唐ヨリ來ル河ニ對シ炒ニ用

酸棗仁 日本ニ云ナワレロクニ實

也ト八月ニ實ヲ採テ陰乾ニシ

即酸棗ノ葉ヲ飢ニシキ半日

分リ蒸テ皮尖ヲ去テ日ニホシ

シロシ用ユ

栗蠹 一名只蝕朮クワノ木ノ

枝ニ生ツケタカキリノ子ナリ

二三月ニ採テ罍ノ中ニテ教テ

用ニ餘ノ木ニモアトモ不用藥

ニシルニナシ

栗茸 一名栗菌 一名木麥

クワノ木ノクサヒラ也坐ニ及テ用

全藥屋ニ栗寄生ト云テ賣

ハ皆コレト見ヘタリ

栗白皮 クワノ木ノ根ノカワ也去

中ニ深ク入テ煎ヘサレタル根皮

尤モ佳ナリ土氣ヲ洗ヒ上ノ黄

ナル皮ヲケツリ去テ白キ處ヲ取
テ坐ニ焙テ用エテ上へ出タス
ノカワヲ用エカラス人ヲコロスト
リ鐵氣ヲ忌グワノ葉ハ蜈蚣
毒ヲ解ス

桑寄生 クワノ村ノヤドリ木ノ事
也坐ニ灸テ用エテ代藥ニ外麻ヲ
用エト又公桑茸ヲモ上皮ヲサリ
使フト也

蒼耳 日本ニ多クオトモニ軒ナリ
實ヲ使フニ炒リ焦シ用ユ
蠶布 カイヨヲカタ時下ニキタル
紙ノ事ナリ灸テ坐ニ使フ

犀角 ワリテニルニ八方トモニサス也

イタダクニス別ノ角ト知レト馬犀

觔ト云フ公色黒シサニテヨロシ使

酸榴皮 スシヤクロノ實ノカワ也白

水ニ浸シ乾シクウスカワヲ去テ用ス

柴胡 一名ハ山菜一名ハ茹草葉一

名ハ芸蒿日本ニ云カクモシヤト

云草ノ根也ト又野カニタウトモ

云フ華白クウスアカキハ是白柴

胡ナリ又河原柴胡ト云黄色

十九華サキテ根紫色ナリ河原

ニ多ク凡物也ノ世リ去ナリ蘆

頭ヲ去リ白水ニヒタシ土氣ヲ洗

キサニ日ニ乾用エ火ヲ忌ム

皂角刺 サイカクシノ角也炒未シ

使フ丹皂角サカサカノ字ノ麴コウニ具三
記ス

山慈菘 シジユシヤチノ根也ホウ

ツキノ根ヲ使フ人モアリ本首ニ

云ク葉ハ車前ニ似タリ根ハ慈菘

ノ如シトアリ然ル則シシジユシヤ

ニテモナキカ審ナラス

酸漿草 順ノ和名ニ云ク兼名苑ニ

云 酸漿水一名洛神珠和名ホソキ

山施子 日本ニ云ククキナレノ事也

仁ハ心胸ノ熱ヲサリ皮ハ表ノ熱ヲ

去ル葷頭ヲ去テ坐ニ焙ク又ハ酒

ニテチバリヲ洗ヒ捨テ日ニ乾ク使

雷公カ云顆太ナル者ヲ用ル事ナカ

號ノ伏尸ト云ク施子ニカナレ雀尾

ノ如クニ鬚長ク赤色ナク上ト

山菜薹 一名蜀葵一名雞足

名ハ魁實核ヲ去リ炒テ用テ代

藥ニ日本ノハヒロクニラ棗ノ如

ニ蒸テ核ノ中ノ實ヲ去テ使フ

ト云フ説アリ

草烏頭 炮ノ皮ヲ去テ割ク

細辛 一名小辛。日本ニアル葉

タツクモノ葉ニ似テ小ク莖ハ紫

色ナリ根一本ヨリニ葉四葉シ

出ル也葉ノ内ニ少クニ文アリ二六

月ニ根ヲ搥テ陰乾ニス去氣ヲ洗

芦頭ヲ去テ白水ニ一夜ヒタシ

用ユ

蒼朮

日本ニ云オケラ事ナリ若

根ヲ蒼朮ト云古根ヲ白朮ト云

但レ時月ニヨルヘキト云三月ニ搥

シ蒼朮ト云八九月ニ取ラ白朮

ト云ラカ製法ハ白朮ノ下ニ記ス

山藥

日本ニ云ヤノイモノ事也冬

朮ニ採蒸シ乾テ用真ニ薯蕷ノ

山柰

唐ヨリ來ル也又ル湯ニタシ

子ヲ去テ肉ヲトリテ用ユ

山葵子

ノ世ノ實也炒テ用

草豆蔻

唐ヨリ來ル也草藨ノ皮

ニ似テ中ノ實ハ縮砂ヨリ少シ

大キナリ布ニ包ミミニアラ取

テ炒テラズ

京三稜

一名ハ削堅中尉日本ス

クノ根也根ヲトツテ土氣ヲ洗ヒ

毛ヲ去リ醋ニテ煮テ坐三日ニ

ホシ炙リ用ユ

金沸草

セシク花ノ也未詳ナリ

薑黃

莪朮中ニテリ若根ノ細ヲ

姜黃ト云フ其次ヲ鬱金ト云ヒ

古根ヲ莪朮ト云フ何モ一類也

葉青緑ニシ長キ事一二尺ハカ

リ瀾キ一三四寸斜ニ文アル花

ニ似テ中ノ實ハ縮砂ヨリ少シ

大キナリ布ニ包ミミニアラ取

テ炒テラズ

紅白也ナリ取ニ時ナレト又云八
月ニ根ヲトリ序ニ切テ暴シテ干

炒テ用ユ

桔梗 一名利女一名房圓。一

名ハ白藥。一名梗草。日本ニ多

クアリ。六月ニ根ヲ取テ暴乾ス

土氣ヲ洗口泉水ニ一宿シ蓋頭

ヲ去リ翌三日ニ乾テ用ユ

枳殼 和名カラタチノ木ノ實也

キコクト枳實ト同物ナリ但キ

シツク小ク青キ時ニ採キコク熟

ノ是ヲ取テ凡製スルハ白水ニ

タシ裏ニ核ト幕トヲ去テ翌日

麥ケラ皮ニカキニセモ三合ニ炒テ

其後麥ノアノ皮ヲ撥ステツル

キシツモ製スル事コレニ同シ

騏驎竭 日本ニテハアレゲ馬ノ血ヲ

使フ唐木ノヤニテリ松脂ナリ如

ニ木ヨリ流シ出ル液ナリ本草木

部ノ中ニテリ雷公カ云ク凡使フ

先研ニ粉トナシテ篩テ使フ衆

藥ト同ノ摺化スナカレ飛テ

塵トナレ也

橘核 三カニノサナ也イツテ用ユ

橘紅 陳皮ト同シ

杏仁 和名カシモ、核ノ中ノ也

俗アシストモ云ク五月ニトル雙仁

ナル者ヲ不用イリテ熱湯ニ浸

鹿矢ヲモテキサミ用ユ

鴛鴦ハトノ屎ナリ

荊ハトノ屎ナリ 撫キクカニ 荊セシキヤ 上セシキヤ 三セシキヤ 同セシキヤ 川セシキヤ 荊セシキヤ ノセシキヤ 花セシキヤ

生イハレテ 出イハレテ タルイハレテ 若イハレテ 根イハレテ ノイハレテ 少イハレテ キイハレテ ヲイハレテ 云イハレテ 製イハレテ 法イハレテ

八セシキヤ 川セシキヤ 荊セシキヤ ノセシキヤ 下セシキヤ ミセシキヤ ナリ

葵トウキシ 子トウキシ トモトウキシ ヲトウキシ フトウキシ トトウキシ ノトウキシ 字トウキシ

篇トウキシ ニトウキシ アリ

金ツツク 櫻ツツク 子ツツク 和ツツク 名ツツク ヲツツク カツツク ナツツク シツツク

金ツツク 牙ツツク 日ツツク 本ツツク 但ツツク 馬ツツク 國ツツク 上ツツク 野ツツク ノツツク 國ツツク

アツツク リツツク トツツク 金ツツク 色ツツク ノツツク 如ツツク トツツク ナリ

龍ツツク 甲ツツク 一ツツク 名ツツク 神ツツク 屋ツツク カツツク ワツツク 龜ツツク ノツツク ヲツツク ヲツツク 也ツツク

トツツク 上ツツク 時ツツク ナツツク 製ツツク 法ツツク 龍ツツク 甲ツツク ノツツク 下ツツク

菊ツツク 花ツツク 一ツツク 名ツツク 節ツツク 花ツツク 一ツツク 名ツツク 白ツツク 精ツツク

名ナヨク ハナヨク 女ナヨク 節ナヨク 一ナヨク 名ナヨク ハナヨク 女ナヨク 華ナヨク 一ナヨク 名ナヨク 女ナヨク

莖カクセ 一カクセ 名カクセ 更カクセ 生カクセ 一カクセ 名カクセ 周カクセ 盈カクセ 一カクセ 名カクセ

傳ワカ 延ワカ 年ワカ 一ワカ 名ワカ 陰ワカ 成ワカ 和ワカ 漢ワカ 同ワカ

莖キカク 紫キカク 色キカク テキカク 氣キカク 香キカク シキカク ヲキカク アキカク ミキカク キキカク ヲキカク

用アツク ヲアツク キアツク 青アツク 色アツク テアツク 氣アツク モアツク ナアツク クアツク 味アツク

苦モク キモク ハモク 用モク スモク カモク ラモク スモク 陰モク 乾モク ニモク スモク トモク

アモク リモク 然モク トモク モモク 日モク ニモク 干モク テモク モモク 苦モク シモク カモク

ラモク スモク 臍モク トモク クモク キモク トモク フモク 去モク 又モク 云モク 黃モク 菊モク

花モク ヲモク 用モク ヲモク トモク ナリモク 九モク 月モク ニモク トモク ルモク 火モク ヲモク 息モク

菊モク 名モク 石モク キモク クモク 花モク ノモク ヤモク ヲモク ナモク ルモク 文モク ノモク

アモク ルモク 石モク 也モク 日モク 本モク ニモク テモク ハモク 紬モク 伊モク 國モク 多モク

クモク アルモク 也モク

稀モク 蔘モク 草モク 一モク 名モク 只モク 火モク 蔘モク 和モク 名モク ナモク

モモク ミモク トモク 云モク フモク 秋モク 黄モク 色モク ナモク ルモク 華モク サモク フモク

ナリ五月五日七月七日九月九日
ニ採テ暴干テ酒ニタシ九
釐サシニ九度曝サシテ未トナス
金銀花キネンカ スイカヅラノ花ナリ陰乾
ニ又使フ忍冬ノ下ニ記ニノ字
ノ篇ニアリ

油

榆白皮 一名八零榆 和名ニレノ
木ノ皮ナリ二月ニ皮ヲ採八月
ニ實ヲトルト也製スル上ノ
皮ヲ削リ去テ白キ處ヲ削三
用三日ニホス
柚核 ユノサ子ノ事也イツク碎キ
カワラ去テ用ユ

硫黄 日本ニモ處々ニアリ水飛
ノ使フ也

女

明礬 白礬トモ云フスキダウサ
ノ事也日本ニモ飛彈國長門
國肥後國阿蘇ノ社ナトモ
アルト也焼テ使フ也
綿附 ヤラカナル附子ノ事也

美

蜜 製法ハミツヲ茶碗ニ入レ沸
湯ノ中ニオイテ是ヲ煉ニ上ヘ
沫ウメヲ去ル也其沫ヲ去ヘシ蜜十
兩ヲ子ツテ八兩ニ去テ度ト下
但シ蜜ニヨルベシト也

密陀僧 日本ニモアリト云々金
銀ノ丸國ニアルト也ルカスト也
其ノ使ヲ説アリ又柳ノ木ノ中ニ
アル蟲ヲ採テ蟲ノ足ヲ去シ
陀僧ニ交テ東流水ニ夜浸メ
後野ヲサリ密陀僧ヲ乾シ用ユ
狢猴 一名狢猴サルノ事ナリ
師ヲ干テ使フ事アリ

志

磁石 一名玄石 一名八咫石 日本
ニモアリ 近江國淺井郡鹽津嶋
ニテ無時コレヲ採ト又意庵宗
恂ノ白陸奥并ニ備前ノ國ニ有
之製法ハ東流水ヲ以テ蒸乾

三晝夜サテ漉出シ拭ヒ乾シ
布ニ裏シ三石ノ上ニ置テ打碎
キ細ニ乳鉢ニ入レ研テ用ユ
紫石英 赤白紫紫色ノ三種アリ
カカラケ 土器ニ入火ノ中ニ於テヤク俛
紫石ニ酢ヲ塗キリテヤクナリ又云
焼テ後水ニテ洗スベシ
赤石脂 日本ニモ太宰府伊豆
國ニアルト也是モ酢ニ浸シテ
燒テ使フ
辰砂 本名朱砂ナレトモ辰州
ヨリ出ル朱砂佳ナルニ依テ辰ノ
字ヲ置ナリ製法ハ多クテトモ
夕ニ研テ水飛シ日ニ乾再シロシテ

使フ日本ニテヤク朱ヲ誤テ朱

砂ノ代ニ用ユカラス

信石 人言トモ書砂礪ノ事也

秋石 小便所ニ小便ノカタリタル

ヲ採テ日ニ干スリ使フ

青木香 山近キ野ニ多シク天

仙藤ト云フ火ヲ忌ム

赤芍藥 一名ハ餘容 一名ハ犁食

一名解倉 和漢同シ山中ニアル花

アカ名トヘノヲ用ユ。白ハ補ヒ赤夫

瀉スニ八月ニ根ヲ採テ曝乾シ土

氣ヲ洗去テ白水ニヒタシ竹刀ニテ

上皮下并ニ蘆頭ヲ去テ石上ニ

置テ打クタキ日ニホシ焙リ用。銅

鐵ライム

紫參 一名負牡蒙 一名ハ衆戎 一

名負童腸 一名負馬行 和名チノ

ハクサ三月ニ根ヲトル多リ用

蛇脱皮 日本ニテハグチナウノキ又

ノ事也鐵ライム

蛇床子 一名ハ蛇粟 一名ハ蛇米 一

名ハ廼牀 一名負思益 一名繡毒

一名負東棘 一名負蓄藤 和名ヒ

ルムシロノ實ナリ又ハタケセリ實

ナリトモ云。是ハ田野ニ多シ葉ハ世

リノ如クニテ高サ二三尺アリ。五

月ニ白キ花サキテ苗查ニ似タル

實アリ是ヲ用ヒテ佳ナリ日ニ干

毛ヲ去リ必シイリテ用ユ一説ニル

ハシロノ實ハアシトナリ

使君子 本ハ四君ノ書ニ今ハ使君

子ト云ナリ皮ヲ去テ炙リ用ユト

アルトモ實少キ故ニ皮トモニ炒

用ユ

車前子 一名ハ當道 一名ハ紫背

一名ハ蝦蟆衣 一名ハ牛遺 一名

勝鳥 和名オバコノ事也實ハ七

月八月ニ採テ日ニホシテ其下

用ユ又少シ炒テモ使フ葉及根

ハ五月五日ニ採陰乾ニス

蒺藜子 一名ハ旁通 一名ハ屈人

一名止行 一名ハ豺耳 一名外

推 一名ハ茨 和名ハミシノ實也

七八月ニ採テ暴ニ乾シ木臼ノ中

ニ於テ搗皮ヲ去リ酒ニ拌セ蒸

テ用ユ

紫菀 和漢同 一名ハ桂萸 一名

ハ水壯元葉ハ六月ニ取テ日ニ干

テ用ユ火ヲ忌紫蘇子 炒ニ使

橡實 和名クヌキノ實即トナ

事也

辛夷仁 一名ハ辛薺 一名ハ候桃 一

名ハ房木 和名ヨシノ木ノ實ノ

事也九月ニ採テ暴ニ乾ス雷公云

鹿皮并ニ上ノ赤肉ヲ去テ芭

蕉水ニ一宿ニ漉出シ又漿水ヲ用

テ煮フ^レ巴^シ未^レノ時^ニ三^ツサ^レサ^レ燻^ル
カカ^レモ^トユ^ク
テ用^ト也又云ク炒^テ使^フ也
花^ハ炎^テ用^ユ

真^シ蘇^ソ油^ユ シ^シノ實^ニク^クラ^ク也紫^シ蘇^ソ

子^ヲ少^クイ^リ蒸^テ油^ヲシ^ホリ取^リ
紫^シ歲^シ 一^ノ名^ニ陵^ノ茗^ノ注^云即^チ千^ノ零^ノ陵^ノ

華^ハ是^レ也トアリ日本^ニ三^ノ公^ノ多^ク
カ^クラ^ク花^ヲ干^テ炒^テ用^ユ花^十

ク^クツ^ツ毛^ヲ葉^ヲ用^ユトナリ

紫^シ蔚^シ子^一名^ニ益^ノ母^一名^ニ益^ノ明^一

一^ノ名^ニ大^ノ札^一名^ニ貞^ノ蔚^一和^名メ

ハ^ハキ^ト云^フ草^ノ實^ナリ九^月

ニ^ニ採^テ暴^シ乾^ス鐵^ヲ忌^ム益^ノ

母^草ト^{アル}則^チ葉^ヲ使^フ製^法

ハヤ^ノ字^ノ篇^ノ益^母草^下記^ス

商^陸 和^名ヤ^シハ^ウ八^月ニ^根採^ル

テ^能ク^土氣^ヲ洗^ハ濁^ニス^ル又^云ク

赤^ト白^トノ^藥性^異ナ^リ赤^キハ

腫^氣ヲ^消ス^白キ^ハ水^氣ヲ^利ハ

紫^シ檀^一 製^法ニ^テイ^カモ^紫色^ナル^者

ヨ^シ火^ヲイ^ム

麝^香 偽^モノ^多シ^紅ノ^イト^ニ麝^香

香^ヲ塗^テ見^テシ^テイ^ハ皆^ク黄^ク

色^ナル^者ヨ^シ又^云ク麝^香ノ^中ニ

大^豆ノ^様カ^タリ^タル^アリ^是ノ^名

ツ^ケテ^當門^子ト^云フ^是尤^モ佳^也

使^ス中^ニ交^リテ^{アル}モ^去テ

茶^碗ニ^入リ^研テ^藥ニ^入ス

縮砂 煨ニ。多ク布ニ包ミ。アカラシク
テ用ユ。日本ニハ山ハレカニノ實ニ

リト云フ

常山 一名互草日本ニハクサ

ギト云フ又ハ山アキサイトモ云

八月ニ根ヲ取テ陰乾ニシ土氣

ヲ洗ヒ日ニ干酒ニ漬シ又日ニ

干テ坐ミアクル

蜀漆 即チ常山ノ葉ナリ日

ニホレテ坐ム

苜蓿 一名公苜陽和漢同シ一

寸九節ナル者ヲ用エ土ヨリ上ヘ

アガル根ヲ露根ト云フ是ヲ用

ユヘカラス八月十二月ニ根ヲ採テ

節ニツヒテツチケアラカケホレ

節水ニ浸シ土氣ヲ洗ヒ陰乾ニシ

銅刀ニテ皮毛ヲ削云テ坐三日ニ

干用ユ鐵ライム

薯蕷 一名芋玉一名山藥和名

山ノイモニ八月ニ根ヲ採テ銅刀ニテ

皮ヲ削リ去テ米ノ粉ヲヌリテ日

ニアタラヌ處ニ置テ風ニラカセ乾シ

坐ム炒ス蒸フヲキラス生ニ乾用

又或説ニ冬月ニ取テ蒸テ暴シ

乾トアリ方ニ依ヘキカ鐵氣ヲ息

神麩 六月六日ニ小麥ノコメナモミシ

モミ汁ニテ子テ小サクニキツテ麩ト

ナレ子ニイリ用ユ又云ク大唐米ノ

飯ニ黒豆ヲ炒テ粉ニノ飯ト交ヘ

カウジノ如クニ台ノ中ニテカバシテ
用元ト也

靛皮 一名六童皮ニカシテ青キ時ニ

採テ内ニワリ中ノ穢ヲ去テ坐スル

脂麻清油 胡麻ノ油

樟腦 和漢同ト水邊ニ生シタル

スノ木ノ根ニ大キニカミリテアリト

其ヲ燒テ使フ也七度ヤケテ龍腦

ノ香タル樟腦ヲ天目ニ入又其

上ニ天目ヲ蓋シテ人足ノ紙ニテ

ハリ塞キ火ノ上ニ置テヤケ上ノ

天目ニツリテタルヲヨク取テ使

秦朮 和名トガリクサハカリクサニ
八月ニ根ヲ採テ暴ニ乾シ去テ氣ヲ

洗ヒ蘆頭ヲ去リ坐ニ卒ト焙

秘用方ニ云ク秦朮ナク代藥ニ

乾葛ヲ用ルト也

紫草 一名八世赤丹一名紫美ム

ラサキノ根ナリ三月ニ根ヲ採陰

乾シ去テ氣ヲ洗ヒ茸頭上毛

ヲ去テ坐ニ炙ル

紫苔 トサカリノ事也

紫菜 ムラサキノリ也

秦皮 一名石櫨一名岑

皮 和名ト子リコト云フ木ノ皮也

二月ニカワヲ取テ陰乾シ白水

ニ一夜ヒタシテ鹿皮ヲ削リ去テ
キサニ炙ル

秦椒 秦州ヨリ對ア蜀椒ハ蜀國

ヨリ出花椒ハ熟シ色ノ赤キヲ

云フ日本ニテハサセウヤ云フ八月

ニ實ヲ上ル

柿蒂 クニキノヘタ也ヨリ洗ヒキ

雌黄 東流水ニテ淘洗シ事ニ度

ノ水ヲ去テ拭ヒ乾シ白中ニ打

多キ研テ飾フ

真珠 ハクニ財ノ中ニテ玉ノ事也

製法ハ煎水ガニテ煮テ一三晝夜

サテ煎草湯ヲ以テ洗ヒ白中ニ

於テ擣ククニ細ニ研ヒテ用ユ

沙參 一名知母一名苦心一名ハ

志取一名ハ鹿鬚一名ハ白參一

名ハ識美一名ハ文布二月根

ヲ採テ具ニ乾シ下明ニアリ并ニ

一官云日本ノシラ人參ノ事也

ト日本美濃國ニアリ

紫藤 常ノ藤ノ一也根ヲ採テ

洗ヒキサニ炙ル

紫苑 一名ハ紫舊一名ハ青苑和

ヲテシヨク各ニ三月ニ根ヲ取テ

陰乾ニス芦頭ヲ去キサニ炙ル

紫苑草 シラシキヨリ二三寸生タ

ルトキ取テ乾シ水ヲ以テ洗テ

坐ニ炙ル

赤小豆 アツキノ事ナリ食療本

草三云 鱈魚ト黄和ノ食ス六脚
氣ヲ治ス

垣衣 一名昔形 一名八鳥韭 一名八

垣羸 一名天韭 一名八鼠韭 一名

シラカサノケケ雷公カ云古キ垣ノ

カケ或ハ屋ノ上ニ生ス三月三日ニ

取テ陰乾ニス

營實 一名蔞薇 一名八牆麻 一

名八棘 一名牛勒 一名蔞蔞 一

名八山棘 八九月ニ採テ陰乾ニス雷

公カ云今ノ蔞薇也鹿布ヲ以テ

黄毛ヲ拭キ去テ細ニ剉シ漿水ヲ

用ニ濕テ蒸事一宿ノ日ニ于用ユ

和名 八營實ハバブラノニトアリ

鹽花 一ホヤノ所ニ何モ白ク燒付

タル用ユ

地

擯椰子 中ノ多リタルヲ捨テ如何

ニ毛堅ク重シク用ユ其ノ剉ニ使

火ヲ息ム

白檀香 麝ヲ來ル其ノ剉ニ用ユ

火ヲ息ム

白及 一名八甘根 一名八連及草 和

カニニ各

批杷葉 一トノ葉ノ生ナル時ニ葉一

枚ノ重サ一兩アル者ヲ四月ニ取鹿

布ヲ以テ毛ヲ洗ヒ去リ并ニ筋ヲ

去テ甘草湯ニテ洗ヒ又ワタニテ
拭サテ酢ヲ塗テ炙リ乾シ用ユ
又一説ニ毛筋ヲ去テ其ノ炙リ
乾シ用ユト

葷澄茄 陽ニ向フ者ヲ胡椒ト云ヒ

陰ニ向フ者ヲ葷澄茄ト云ト也胡

椒ノ條下ニ毛記ス雷公カク酒

ニ浸シ蒸フ已ヨリ酢ノ時ニ至リ

芒テ拵テ細ク用ユト也或説ニ

火ヲ忌トアリ

豆蔻 上座ヲ去リ卒ト炒シ使

百合 一名重箱 一名摩羅 一名

ハ途花 一名只強瞿 和名 ユリノ葉

大ニ花ノ白キヲ用ユ葉小ニシテ

花ウラアカキハ用ユカラスニ八月

ニ根ヲ採テ暴シ乾シ薑頭ヲ

去テキサム

百草霜 五月五日ニ色々ノ草ヲ

百種ホト取り集メ黒焼ニスルヲ

云フ

白木 一名山薊 一名山薑 一名山

連 一名山芥 一名天蘇 一名山精

一名心カ加 和名 オケラニ三八九

月ニ採テ暴乾カス其者木ノ條下ニ

モ記ス白木ト蒼木ト一種ナリ製

法ハ糲ノ汁ニ浸ス軒春秋ハ三日

敷ク二日冬ハ四日毎日水ヲカヘテ

ヲ洗ヒ上ノ黒キ皮ヲ削リ去テ

坐三日二千炒り用

葛藤子 和名タタミ。カクカ。實ノ

ヲ用テ煮和ノ上皮ヲ去實ヲト

リ研テ用テ葉ニ揉テ脚氣

風腫ノ和仁丸ニ是ヲ付ヨ効アリ

白葵花 白アライノ花也。坐三焙ル

白高唐子 多クシヤノ實ノ事也

少シ炒り用

草薺 日本ニハオニトヨロノ事也ト

云ノ蔓アリ担ハ黄ニ節多葉

ニニツカド有テ色アラク山ノ草ニ

似タリ花ノ黄丸ト白キト種々

リ又花ナクシ白キ實ノ丸モアリ

又莖ニ刺アル根白ク堅シ莖ニ刺

ナキハ根ヤハラカナリ軟ク少用ニ

ニ八月ニ根ヲ採テ暴乾ス又二説ニ

サキスノ事也トモ云ヘリ

草薺 醋ニ三夜ニタテテ干カス。一

説ニ火ヲ息ムテ干カス。其蘇香圓キ

トニ合スル時モ炒ルナリ

白斂 一名ハ菴核。一名ハ白草。一名ハ

白根。一名ハ昆崙。和名ヤカ、ニ。

一本ニヨトリ上戸ニ八月ニ根ヲ採

テ暴ニ乾カス

麝香 一名ハ麝香。一名ハ蓬離。其

麝ノ苗ナリ。和名ハ川茸ノ條下ニ記

白鮮皮 和名ツトク。或本ニ花ノ

白ククククノ根ノ皮也ト未
詳ナラズ白水ニ浸シ黒皮ヲ去キ

サニ灸ル

百部根 一名樹木又波婦草ト

名ク和名ホトツルホトツラ俗ニ多

ヘクカツラノ根ナリ土氣ヲ洗ヒ

竹刀ニテ鹿皮ヲ削リ去テ酒ニ

夜ヒタシ判ニ焙リ乾シ用ユ

白芷 和名モモ子ヨイグササハ

ノト異名ト製法ト香白芷ノ

條下ニ記ス

毛

木通 通草ト一種也即通草ト記

木香 一名蜜香一名五木唐言來

其下、劉三用ユ火ヲ忌 和名サフ

モクサ日本ニ毛幡磨ノ國ニアリ

木賊 和名トクサノ事也四月ニ

採テ陰乾シ節ヲ去キサム

木瓜 和名ホノ銅刀ニテ皮ヲ削

ステ核ヲ去日ニ干焙リ用ユ鐵

クイム

沒藥 其下、碎キ用ユ

世

前胡 一名西天蔓 和名ウダラニ

八月ニ取テ暴ニ乾シ蘆頭ヲサリ

土氣ヲ洗ヒキサ日ニ干

仙靈皮 トキノ實ノ皮也唐ヲ用

石花 一名浮石一名海南石丸

イシノ事ナリ

石斛 一名八林蘭 一名禁生 一名

杜蘭 一名石遂 和名イワタスリ

トクニ似テ白キ花サク節ヲ去

テ酒ニ浸シ日ニ干スル石生ス

ルヲ用エ水ニ生スルハアリ

石葦 一名石韃 一名石皮 和名

ヒトツ。イワカシワ。イワクサ。イワクミ

山中ニ生スルヲ用ユニ人聲水聲

聞テ處ニアラハレ二月ニ葉ヲ

採テ毛ヲサリスコシ焙リ用ユ

茜根 一名地血 一名茹蘆 一名

ハ茅蒐 一名舊 和名アカ子ニ

三月ニ根ヲ採テ暴シ乾ス土ニ氣

ヲ洗ヒ白水ニミタシ芦頭ヲサリ又母

草水ニ漬シ銅刀ニテ割ニ日ニ干

鐵并ニ鉛ヲイム

川芎 又芎藭トモ云フ一名胡芎

一名香果 和名オナカヅラシナカ

ツラクサ唐ヨリ來ルヲ用ユ芦頭ヲ

去リ其マ割ム火ヲ忌日本ニモア

ハ江州ツツキ山ナトモアリ處ノ

俗是ヲウレクサト云フニ四月ニ採

テ暴シ乾ス

升麻 一名八周麻 和名トリノアヒト

云フ草ノ根也二月ニ取テ去リ

洗ヒ毛ヲ去リ日ニ乾シ割ニ用ユ

仙人草 多クサノ事也ト云フ

石榴皮 シヤクノクニ 實ノ皮也米ノ

二浸レ日ニ于銅刀ニテギサニ用ユ

石榴根 シヤクノネ 名ノ根ノカク也米

淋ニ浸ス

石膏 セキカウ 一名ハ細理和名

本ニ毛備中ノ國飛彈ノ國又太

宰府ナトニアト也白クウルキ

者佳ナリ目藥ニ黃連ノ煎汁ニ

ヒタシ焼テ使フ傷寒ナトニ其ミ

用ユ

石硫黄 セキユワツ 打ツダキ水煮ニニ茸草

水ニテ洗ヒ研テ水飛ヌ使フ

石鍾乳 セキセウニウ 一名ハ公乳一名ハ昔石一名

ハ夏石日本ニ毛佐州カイフニ

ト也製法ハ右ニ同シ

石牀 セキシヤウ 一名ハ乳床一名ハ逆石鍾乳

ノ下ニアル物ナリ

川山甲 セシヤウカウ 一名ハ鱧鯉用割ニ土器ニ

テ炒テラロシ用ユ

蟬蛻 セシヤウ 一名ハ蟬退セニ又ケカラノ事

也去氣ヲ洗ヒ日ニ乾シ炙リ藥研

ニテラロシ用ユ

石決明 セキケツメイ アワヒカラノ事也打碎キ

フキノ厚キ處ヲ用テ鹿皮ヲ切

水ニテ洗ヒ浄ム

蟾酥 セシヤウ ヒキカイルノ油也兩ノニカ

ハラフ高キ處ヲ油紙ヲ以テオモ

ハ白色ナルアブラ出ル也ソレヲ

貯置テ用ユ

蕤苞セキイ一名六出苞セキイ和名サキツサ

ミテハ入參ミシシ又桔梗キキョウ似タリ葉ハ

異也上二八月二根ヲ採サレカカテ暴乾ス

旋覆花センフクワ一名金沸草キンホウサウ一名戴椹タイゼン

名八盛椹セイレシ和名ブルマカノツホ

五月二花ヲ採ホステ日ニ干

石龍芮セキリウヅイ一名魯果龍ロクワリウ一名地椹チゼン

名石龍セキリウ一名八彭根ホシユン一名天豆テンジュ和

シノ多イ陶隱居タウインキヨカ云實ノ形千

斯セキ藟子レイシ如キレ黄色キイロニ味アチ少辛スレカセ

莖キ青紫色アヲム色キクニツニ葉ハニツア

リ其葉ハコト上キ刻キ三多ツレ五月二實ミヲ

採ホス二八月二皮カヲ取カテ陰乾カニス。又

唐本注カクホ云ク俗ソウナツケテ水スイ董トト云

實ミ公コウ綦キノミノ如コトレ故コトニ地椹チゼント名ナツ

下濕カノ地チニ生シス子シハ五月二熟ジュクス粒リツ

大オホ井イ葵キ子シノ如コトレ子シ葉ハニ味アチ辛スレ

千歳藥センサイヤク一名真蕪マユ和名アツラ。

ト、キ。ツルツルハ葡萄ブドウノ如コトクニチノ小コ木キ

ミトイ生シ又圖經トウキョウニ云ク五月二華ハナ

ヒニキ七月二實ミヲ生シス八月二採ホス青

石龍葛セキリウカ一名六龍鬚リクウシュ一名草續サウジツク

斷タガ一名龍珠リウジュ一名八龍花ハチリウカ一名八懸ハチケン

莞カン一名サウ草カウ毒トク和名カツツヒケカウウレ

ノヒタイノヒ五イ七月二莖キヲ取ホステ暴乾カ

又根ネハ八九月二取ホステ暴干カ

青黛 龍花上ニ同シアイロク事

也アイノ糸ノ上ニ浮テアル淡ク取

テ日ニ干シ復テ

青箱子 一名草蒿 一名薑蒿

和名 ウツサ アマクサ 三月ニ莖葉

ヲ採テ陰乾ニス 五六月ニ實ヲトル

寸

水銀 一名八承 和名 ミツカ子 日本ニテ

ハ伊勢國ニアリ

水銀粉 一名八承粉 一名輕粉 一名

八峭粉 和名 シロイノ事也 一切

ノ諸血ヲ忌

水雲 和名 モツクノ事

水蓼 和名 カワタテノ事也 久クテ似

テ莖下カシ蛇ニサシ心懸ルニ搗

テ是ヲ傳ヨ又絞テ汁ヲ服ス六

毒氣ヲ消ス

水萍 一名水花 一名水白 一名水

蘇池澤ノ上ニ浮テ生ル草ナリ

葉ハ圓フノウリノ葉ニ似ル 三

月ニ取テ日ニ乾タラシ用ユ

補遺

金石部

消石 一名芒硝 先研テ灰ニ中ニテ

煨 煨ニテ使フ日本ニテ人讚岐

國ニテリ無時採之

世確 製法ハ前ニ記ス日本ニテ大宰

府三郡也

杉硝 一名硝石 杉硝有硝水 硝水

毛若狹 俗中ナトニアリ 無時採之

意安宗 怕云硝ノ類ニ皆一物也

只煉槎ノ異ナルニ

陽起石 一名白石 一名石生 一名

半起石 雲母ノ根ナリ

天台石 カミスリドノ事也

礪石 一名磨石 トイシヤアライ

曾青 アライ

風化石 即石灰ナリ

伏龍肝 釜ノ臍ノトヲリニ焼テア

ル土也 シロレテ水飛ノ使フ

鐵漿 ツク口也 齒ニ付ルカチ也



防葵 一名梨蓋 一名防葵 一名

公蘇離 一名農果 一名梨茹 一

名公方蓋 和名ヤナシノ根也 三

月三日ニ根ヲ採テ暴シ 乾ス土氣

ヲ洗テ自水ニ一夜浸シ 乾ス用ニ

阿芙蓉 ケレノ花ヲテ未多實

熟キル中ニ竹針ヲ以テ上ニ刺

ハ 白汁イッルルニシテトリ 貯テ

乾使フ

番蘭子 和名ヒヨコキキ。ハニ十月

ニ取テ 陰乾ス

白蒿 和名アヲラキキ。カハフヨナ

山谷川 澤ニ生ス二月ニ上

天名精 一名麥句薑 一名八蝦蟇

藍 一名天麻 一名天麻精 一名天麻

玉門 一名天麻 一名天麻精 一名天麻

蘭 一名觀 和名ハクカ十川澤

二生 五月二十九

瀉羊薺 一名八剛前 和名マヨリ弁

白薇 一名白薇 一名白薇草 一名白薇

春草 一名骨美 和名ハクカ弁

三子 一名弁 一説ニ花ノ白草 和名ハクカ

也 上云ク三月三日ニ根ヲ取テテ

ヲ新白水ニ一夜浸メ製シ用ユ

草龍膽 一名ハ陵游 日本ニハリ

多ト云草ノ根也 二月十二

月ニ根ヲ採テ陰乾ニス土氣ヲ

洗ヒ又陰乾ニ銅刀ニテ製シ用ユ

鐵ヲ入ル白龍膽トハ花ノ白草云

積雪草 一名蓮錢草 和名ツボク弁

八九月ニ葉ヲトル

芋根 和名カスミト根

紫花 和名ハニシ六月ニ花ヲ取テ

陰乾ニス

敗蒲席 古キカスミシロノ事也

粉草 草ノ大キナル云

蛇母 草ノ十ノイキゴノ事

地菘 和名ハナヒク弁

鹿藿 和名カスミカツラ 草ノ昔ハ

豆ニ似タリ山谷ニ生ス五六月

二探之

白慈草

一名多利ク草

地蕉根

ハセラノ根ナリ

朝薺

一名黄草 一名黄 和名

多トク多トク田野ニ生ス春夏

ハ葉ヲトリ決テハ莖根ヲト

又云春ハ葉花ヲ用ヒ夏秋

冬ハ根ヲ採テ銅刀ニ細カニ

割ニ用テ私ニ云フツノイ敷

胡瓜

キウリ也

胡蘿

フリノ事也

昨葉何草

一名瓦松 和名 カラス

堂上屋上ニ生ス初メ生スル事

蓬ノ如シ夏採テ日ニ乾

敗船茹

フ子ノカ也

醜酢汁

イネゴノル

浦公草

一名蒲薺草 和名 タシ

ホ、四五月ニ取

故魚網

古キウラノミ也

木部

五加皮

一名我加 一名我節

各花魁

和名 ウミキノ根 和名

ハ十月ニ取テ白水ニ浸シ去

ヲ洗ヒ焙リ用

棘刺花

各ノ根

仙人樹

冬クノヲトヘトノ事也

柳花 シヤヤキ也

白楊 ツラリヤキ也 赤葉ヤキ

水楊 カヤキ也

黃柳 ツギ也

人部

靈天蓋 シヤカシノ事ナリ

頭垢 カシノカクケ

亂髮 カシノヲキ也

鳥獸部

菟狢 イノコ也

羊臍骨 ヒビノ子ノ骨ナリ 醋ヲ

カシキ 芥子土器 ニテ焼

白膠 一名六鹿角膠 鹿角ヲ煮

ニニカ 下作ト

雞臍脰 ニハトリノモケ

白鷄 アヒノ事也

カシキ 雁肪 ケラツキ

雁肪 カリノアラ也

虫部

水蛭 一名六蛟 一名至掌 和名 凡本

草 ニ云大ナルモノ長一尺コシラ馬蛭

ト名ク又馬蛭トモ名ク尺小ナル者

ヲ用テ大ニ効ナリ六月ニ採テ暴シ

乾カス又用ニ白水ニ浸スフ一夜ノ

久リ乾シ使フ又云此物死カタ

多ク又

火ヲ加テ氷ヲ得六活スト云

蟻 和名ケラ製法ハ鹽水ニ漬

焙リ乾シ研末ノ用ユ

和名ケラ 三十五

陳

根毒。白朮。黃芩。半夏。烏頭。皮。枳實。麻。葛。右此六種如何。三陳。キノ用。テ。ヨ。藥。性。強。ク。毒。アル。故。也。

新

紫蘇。薄荷。荷。菊。花。桃。花。赤。小。豆。槐。華。澤。蘭。數。冬。花。

右此八種ア多クモ用。陳。モ。用。

事十カレ

十八反

芍藥。苦。參。人。參。沙。參。玄。參。細。辛。與。藜。蘆。白。芩。白。朮。半。夏。瓜。蒞。貝。母。與。烏。頭。大。戟。芫。花。海。藻。甘。遂。與。甘。草。

右是ヲ十八反。辨。ス。誤。リ。用。ル。事。十。カ。レ。

銅鐵之忌

龍膽。茵陳。五。味。子。枯。樓。麻。黃。芍。藥。知。母。牡。丹。藜。蘆。商。陸。香。附。子。槐。花。皂。莢。雷。丸。猪。苓。蒺。藜。薯。蕷。陳。子。桑。白。皮。桑。茸。石。榴。皮。桑。寄。生。已。上。二。三。種。鐵。氣。ヲ。イ。ム。地。黃。玄。參。益。母。草。肉。豆。蔻。已。上。四。種。銅。鐵。ヲ。忌。辰。砂。雄。黃。已。上。二。種。銅。分。リ。ヲ。忌。右。銅。鐵。ヲ。忌。ノ。藥。也。ア。ヤ。リ。オ。カ。ス。事。十。カ。レ。

火ノ息ノ藥

青黛	犀角	茵陳	羚羊角
茜根	柴胡	水香	雲母
芒消	鐘乳	朴硝	禹餘糧
滑石	雄黃	蘇華	川芎
藍葉	乳香	甘松	桂心
丁香	白檀	藿香	香白芷
檳榔	麝香	牛黃	薄荷
紫草	沉香	胡椒	薰陸香

右火ノイム藥也

雷ノ藥性論炮製

煨 火ノシラニワタルホトヤク也
 燻 ヤク也

炮 カニニツ、ミ、上ヲヌラヌアツ灰ニ
 ヲム也

炙 乾トドニサレテ火ニ近クアブル也
 アブリコニ入テアフル也

煨 アツ灰ノ上ニテコロハカス也
 火ノ上ニテアブル也

炒 アカ子ノウス物ナトニテイル
 事也

煉 子ノ事也

熬 煎レカハカス也
 灰ニウツニテライテ雉ノカイ玉
 ノアタ、ミホトヲ云也

露 夜ルサラスヲ云也

曝 日ニサラスヲ云也

1676 (正保3)

暴 サラス事也

飛 研テ水ニスリタテイサセテ使

ナリ

製 薑汁蜜水鹽水酢ナトニ浸テ

コレラ元事也

此和名集并異名製劑記之板
本近代往々雖在之其誤繁多
也故今銷謬改字證令開板畢

正保丙戌孟春吉日

寺町誓願寺前

西村文左衛門板刊

端 云々

明應元年

祖師

印

